

連載「大友時代を生きた人々」

国際文化学部鹿毛敏夫教授の『愈大猷～倭寇を沈静化、明の名将～』が掲載

●大分合同新聞 2018年3月10日(土)

倭寇を沈静化、明の名将



手前の軍船上で指揮する俞大猷（中央）と兵士たち（中国国家博物館蔵『抗倭図巻』）

俞大猷

験のある俞大猷には、その沈静化に向けた策略がありました。『正氣堂集』のなかに明政府の総督に宛てた上申が記録されています。日本には十余りの島にそれぞれ太守がいます。近年では、「山口島太守源議長（山口の大名大内義長）と「豐後州太守源議鎮」（豊後の 大名大友義鎮）の兄弟の影響力が強く、兄義鎮は「州六」（6カ国）、弟義長は「州十二」（12カ国）を支配しています。先年、倭寇取り締まりの使者を派遣したところ、義鎮が「宣諭明文」（密貿易禁止の命令文）を各島に伝えて取り締まつたことで、今年の倭寇が減少しました。

験のある俞大猷には、その沈静化に向けた策略がありました。『正氣堂集』のなかに明政府の總督に宛てた上申が記録されています。日本には十余りの島にそれぞれ太守がいます。近年では、「山口島太守源議長」（山口の大名大内義長）と「豊後州太守源議鎮」（豊後の 大名大友義鎮）の兄弟の影響力が強く、兄義鎮は「州六」（6カ国）、弟義長は「州十二」（12カ国）を支配しています。先年、倭寇取り締まりの使者を派遣したこところ、義鎮が「宣諭明文」（密貿易禁止の命令文）を各島に伝えて取り締まつたことで、今年の倭寇が減少しました。